

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	36	1	基本事務事業名	勤労青少年ホーム施設管理事業	事務事業名	勤労青少年ホーム施設管理事業	公的関与	4	シート作成日	令和6年6月4日			
	部局名	教育委員会		課名	青少年育成センター	主務課長名	藤原 洋文		シート作成者名	南 千春				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)生涯学習の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	~	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に在住する青少年及び市内の事業所に勤務する青少年										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	勤労青少年の日常の援助と福祉の増進を図るための施設管理に努めます。									
				今年度	勤労青少年の日常の援助と福祉の増進を図るため、一般教養講習会・グループ活動等効率的に行える維持管理を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 維持管理業務													
	② 施設管理業務													
	③ 各種スポーツクラブ・文化活動等の運営													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	利用人数			人	目標	1500	1500	1500	1500					
					実績	887	770							
	開館日数	週5日開館(年末年始を除く)		日	目標	250	250	250	250					
					実績	130	108							
						目標								
						実績								
	予算費目 会計 一般会計 款 5 労働費 項 1 労働諸費 目 2 勤労青少年ホーム管理費													
DO			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円	千円	千円						
		県支出金		千円	千円	千円	千円	千円						
		地方債		千円	千円	千円	千円	千円						
		その他特定財源		千円	千円	千円	千円	千円						
		一般財源		1,399 千円	579 千円	2,039 千円								
		計(A)		1,399 千円	579 千円	2,039 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
		会計年度任用職員職種		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員						
		会計年度任用職員工数・経費		0.950 人	1,818 千円	0.950 人	1,857 千円	0.950 人	2,273 千円					
全体事業費(A+B)		3,217 千円		2,436 千円		4,312 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	施設は市内に1箇所しかなく、地域に根差した若者育成の場としてニーズは高いと思います。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	各教室、クラブ、同好会、講座、ボランティア活動、各種研修会等が有効活用しています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる		<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	一般教養としての教室、グループ活動、クラブ等の事業が計画どおり実行され、参加者においても目標達成に向けて増加しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	異なる世代との交流を通じて、社会性や自主性などを身につけることができます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 C	必要性 3	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 C
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	年齢層が高くなっているため、新規会員の確保が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	新規入会者が増えるよう、事業活動等の精査を行う必要があります。					今年度、大規模改修を実施し、事務所は、市場コミュニティセンターに異動しています。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	36	—	2	基本事務事業名	青少年育成センター事務	事務事業名	青少年育成センター事務	公的関与	4	シート作成日	令和6年6月7日			
	部局名	教育委員会			課名	青少年育成センター	主務課長名	藤原 洋文		シート作成者名	村尾 茉優				
	事業区分	● 1 ソフト事業		○ 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☑ 1 直営		☑ 3 全部委託				
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(6) 青少年の健全育成				● 1 該当		令和	年	～	令和	年	☑ 期間設定なし
		主要施策		(1) 健全育成体制の充実				○ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内青少年											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	環境浄化と子どもたちにとって住みよいまちづくり・また青少年の非行防止と健全育成を図ります。										
				今年度	関係機関・団体を中心とした非行防止や有害環境の浄化、補導などの活動を促進し、健全な社会環境づくりを進めます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 警察、関係機関との連携による補導活動・児童の登下校時のパトロール														
	② 健全育成活動の実施(親子ふれあい活動・広報活動・リーフレットの作成配布など)														
	③ 環境浄化活動の推進(白いポストを利用した有害図書・ビデオ類の回収)														
	④ 相談活動(青少年、保護者及び関係機関)														
	⑤ HPへの不審者情報の掲載・パトロール時やケーブルテレビでの広報活動														
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
	補導活動回数	子どもたちの安全及び犯罪行為の予防として		回	目標		55	55	55	60					
					実績		125	147							
	有害図書類の回収	環境浄化活動の1つの指標として		回	目標		70	70	70	70					
					実績		272	456							
	防犯教室の開催	児童生徒の防犯意識向上の指標として		回	目標		14	14	14	14					
実績						6	7								
予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青少年育成センター費		
DO	直接事業費	令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考							
		国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	1,383 千円		2,352 千円		2,209 千円								
	計(A)	1,383 千円		2,352 千円		2,209 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	604 千円	0.100 人	606 千円	0.100 人	595 千円							
会計年度任用職員職種															
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		1,987 千円		2,958 千円		2,804 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価					
		1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ 少ない	● 大きい	青少年の犯罪行為を起きないように関係機関と連絡を密に取りながら安全なまちづくりのための活動をしています。	○ 少ない	● 大きい							
CHECK	必要性	○ ない	● ある	○ ある	● ない	○ いる	● いない		警察・各学校・家庭及び地域が緊密に連携して市内の青少年の非行防止及び健全育成を図るための活動拠点です。	○ ない	● ある	○ ある	● ない	○ いる	● いない		
		○ いえない	● いえる	○ いえない	● いえる					○ する	● しない	○ いえない	● いえる	○ する	● しない	○ できない	● できる
		○ できない	● できる	○ する	● しない					○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる
		○ できない	● できる	○ する	● しない			○ できない		● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている				○ 目標に比べて劣っている	○ あまり上がっていない	相談件数は、前年度と比べたら減少傾向にあると見られます。	○ 目標に比べて劣っている				○ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない							○ あまり上がっていない				○ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している							○ 概ね達成している				○ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している							● 十分達成している				● 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当				○ 高い	● 適当	コストに比べて、十分な効果が得られていると考えます。	○ 高い	● 適当	○ 高い	● 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない							○ できる	● できない	○ できる	● できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない							○ ある	● ない	○ ある	● ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない							○ ある	● ない	○ ある	● ない			
	ACTION	評価点	一次評価					二次評価									
			必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価					
		今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	4	4	A					
			○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等						
当面の課題		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
		R6年度は会計年度職員が1名減となり、パトロール活動などに影響がでています。					関係機関との連携を密にし、相談・要望に耳を傾け、事業推進に努めます。										
改革案と実行計画	引き続き、関係機関と連携強化し、様々な相談に対応します。また、相談員は研修を受講するなど相談対応のための技術向上に努めます。																
委員会指摘事項																	